

(様式2)

令和5年度〔自己評価報告書〕

| | | |
|------|------------|-------|
| 学校番号 | 学校名 | 校長名 |
| 74 | 川崎市立西有馬小学校 | 丸尾 明彦 |

| 学校教育目標 | 今年度の重点目標 |
|--|--|
| 「夢と力を育み 笑顔が輝く子どもの育成をめざして」 ・考える子ども（知） ・心豊かな子ども（徳） ・たくましい子ども（心と体） | 1 子どもたちが安心して、いきいきと自主的な活動ができる学校環境づくり 2 人権尊重教育を基盤とした教育の実践 3 基礎・基本の定着と一人ひとりの教育的ニーズにあった学習指導 4 命を大切にし、生涯の健康づくりができる子どもの育成 |

| 評価項目 | 具体的な取組 | 成果 | 課題と具体的な改善策 |
|-------------|--|---|--|
| 1 自主的活動 | <ul style="list-style-type: none"> 進んで学習や係活動等に取り組む力の育成 集団の一員として活動する力やリーダーシップを発揮する力の育成 自分の考えをもち、他者との関わりを通して、共に課題を解決していこうとする力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 6年生が委員会活動、クラブ活動、運動会等を通してリーダーシップを発揮した。特に委員会活動では集会等を実施し、異学年がふれあう機会を設けることができた。 代表委員会で子どもたちが意見を出し合いながらよりよい学校づくりを進めた。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがやってみたいという思いを実現することができるように教職員間の連携をより強めていく。 G I G A 端末のオンラインや録画等の機能を有効活用して、異学年をつなぐことができるような活動を工夫する。 |
| 2 人権尊重・児童理解 | <ul style="list-style-type: none"> 多様性を認め他者と協力して学校生活を送ることができる環境づくり いじめ、不登校、問題行動等の未然防止と早期発見、適切な対応 子どもたちがよりよい学校生活を送るための関係機関とも連携した支援 | <ul style="list-style-type: none"> 「SOSの出し方・受け止め方教育」を実施し、子どもたちは自分の気持ちを伝えることの必要性などを考えることができた。 教育相談を随時実施し、保護者の不安や悩みに寄り添い、関係機関につないだり、継続的な支援に取り組んだ。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自主的に互いを認め合う人間関係の形成ができるよう、支援を行う。 情報モラル教育を計画的に実施し、継続的に指導していく。 G I G A 端末等を、登校不安がある子どもたちの支援に効果的に活用する。 |
| 3 学力向上 | <ul style="list-style-type: none"> 学習内容の基礎・基本を定着させるための取組と子ども一人ひとりの特性に合わせた教育の充実 学習のめあての明確化、主体的に学ぶことができるような手立ての考案 | <ul style="list-style-type: none"> 体験学習や校外学習の時期や効果を考えて教育課程を編成することで、子どもの学びをより高めることができた。 子どもたちがG I G A 端末で情報共有や課題を提出するなど、今までよりも効果的に使用することができるようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> 適宜、個別最適な学習を取り入れ、子ども一人ひとりの特性に合わせた教育の充実に努める。 学校だけでなく家庭でもルールを守ってG I G A 端末を活用するよう、継続して情報モラル教育を行う。 |
| 4 安心安全・健康 | <ul style="list-style-type: none"> 体と心の健康、災害等から自分を守るために必要な知識と技能の習得と、学習や生活に実践していく力の育成 保護者、地域と連携した安全安心な学校生活の維持 | <ul style="list-style-type: none"> 引取訓練等を行い、発災時に教職員が的確な対応が行えるようにした。 養護教諭、栄養教諭が担任と連携して、健康教育、食育教育を実施し、子どもたちが自分の健康について考え、実践することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 都度、校内安全管理を確認し、発災時の避難経路等を臨機応変に変更するなどして、子どもたちの安全確保に努める。 子どもたちが安全に学校生活を送ることができるよう、保護者や関係諸機関との連携を保持していく。 |

| 学校関係者の評価 | 学校運営のまとめ |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが学校に楽しく通うことが大切である。個別最適な対応が必要になってきている。 外国語は大事だと思っている。子どもたちが小学校での外国語活動を嫌いにならないようにしたい。 運営委員会代表の子どもたちから、地域と交流したいという意見が出たことが嬉しい。これまでの地域の活動を知らない子どもが多いようなので、町内掲示板などで周知を図りたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ねらいをもとに、従来通りに戻すものと変えたものを継続するかどうかを確認しながら教育課程を実施した。 教員が個別最適な学習についての理解を深め、段階的に子どもたちが自己調整しながら学習を進めていくことができるようにする。 川崎市制100周年記念事業「学校e～ね★サミット」等を通して、子どもたちが地域や川崎のことをより知ることができるようにする。 |